

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番		C552i	
S/No			
お買い上げ年月日		保証対象部	
お買い上げの年		機器本体(消耗部品を除く)	
お買い上げの日		お買い上げの日から	
お客様		TEL.()	
お前住所			
販売店		店名・住所	
		上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。	

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

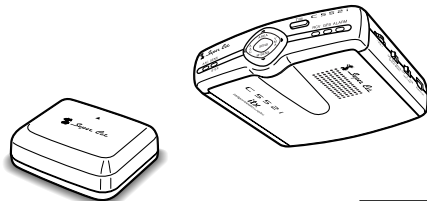
ユピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

R100



6SS0795-B



12V車専用

ity.

intelligent telematics by yupiteru

ity.(アイティ)…それはカーライフに快適でインテリジェント(intelligent)な情報を提供するテレマティクス(telematics)という新しい技術——— ユピテルから

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。

△注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

ダウンロード対応

C552i

車内セパレート GPS&レーダー探知機 取扱説明書

C 5 5 2 i

目次

はじめに	安全上のご注意	2
	主な特長	6
	各部の名称と働き	10
取り付けかた	アンテナ部を取り付ける	14
	操作部を取り付ける	15
	電源について	17
使いかた	レーダー編	
	音量/警報音/受信感度を設定する	21
	便利な機能について	24
	レーダー警報機能について	25
	iDSPについて	26
	トリプル識別受信機能の使いかた	30
	ベスト・パートナー機能について	35
	GPS編	
	GPS測位機能について	36
	GPSゾーン警告&圏外通知について	41
	GPS告知機能について	42
	マイ・エリア警告の使いかた	44
	MSC/ミニマムセンス制御の使いかた	46
	AACシステム/ASS機能について	48
その他	取締りレーダー波を受信しにくい場合	51
	取締りのミニ知識	52
	故障かな?と思ったら	54
	仕様	56
	アフターサービスについて	57
	保証書	裏表紙

安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

- ⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

-  水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⚠ 警告

-  機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- ❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
-  警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。
-  バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。
-  サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
-  医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

はじめに

はじめに

⚠警告

-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
-  シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
-  シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。
-  ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

-  表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
-  煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
-  助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。
-  車から離れるときは、電源が切れていることを確認する…エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグの電源スイッチを切にしてください。
-  シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。
-  お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

- 周辺環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。
- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■ **itx.** intelligent telematics by yupiteru

itx. (アイティ)…それはカーライフに快適でインテリジェント(intelligent)な情報を提供するテレマティクス(telematics)という新しい技術——ユピテルから

ユピテルのインテリジェント(intelligent)なテレマティクス(telematics)技術により、単なるレーダー探知機に留まらない、快適なカーライフのための情報提供機器へ進化させる高次元なサービスです。そして、まずダウンロードから始まった。

*テレマティクス…通信(テレコミュニケーション)と情報処理(インフォマティクス)の組み合わせによる造語で、クルマにおけるインターネット接続関連のITサービス。

Telematics = Telecommunication + Informatics

■ ダウンロード対応 [特許出願中]

携帯電話*を使って、ダウンロード対応レーダー探知機のGPSデータをダウンロードし、オービスやNシステムなどの設置ポイント、速度取締りや検問などのゾーン警告の登録ポイントを更新することができます。ダウンロード・アダプターは **itx.** クラブに入会すると、送られてきます。(詳しくは同梱の「ユピテル **itx.** クラブ」パンフレットおよび申込書をご覧ください。)

ご契約中は、何度でもダウンロードできます。(携帯電話の通話料はお客様のご負担となります。)

*携帯電話の機種によっては、サービスをご利用頂けない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ GPS測位機能

GPSにより、ループコイル式オービスやLHシステムも、ボイスで警告。

① **GPS急速測位**… 業界初、GPSカスタム・モジュールにより、急速測位を実現！

② **GPSボイス警告** [特許出願中]

『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に高速道(一般道)〇〇〇式オービスがあります』

- ・オービス識別ボイス … ループコイル式・LHシステム・Hシステム・レーダー式とオービスの種類を識別。
- ・方向識別ボイス … 走行車線のオービスのみボイス警告。更に、進行方向に対して約25°以上のときは、その方向(右または左)を識別。
- ・高速/一般道識別ボイス … オービスの設置道(高速道または一般道)を識別。

③ **トンネル出口警告** [特許出願中]

『ポーン トンネルの出口付近に高速道(一般道)〇〇〇式オービスがあります』

④ **GPSゾーン警告&圏外通知** … 過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)ゾーンを予めメモリー。そして、ゾーン接近時、ゾーン突入時、圏外の3段階でお知らせ。

『ポーン 右(左)方向1km先に高速道(一般道)トラップ(チェックポイント)ゾーンがあります』

『ポーン 右(左)方向に高速道(一般道)トラップ(チェックポイント)ゾーンです ご注意ください』

『ポーン トラップ(チェックポイント)圏外になりました』

※トラップやチェックポイントは常に行われているとは限りません。

⑤ **オービス・ポイント直前告知** … 『ポーン』と通過直前に音でお知らせ。

⑥ **交通監視システム告知**

『ポーン 右(左)方向すぐ先に一般道交通監視システムがあります』

⑦ **NシステムGPS告知** … 『ポーン右(左)方向すぐ先に高速道(一般道)Nシステムがあります』

⑧ **マイ・エリア警告** (30カ所登録可)

『ポーン 右(左)方向1km(500m)先にセットしたエリアがあります』

⑨ **MSC/ミニマムセンス制御** (30カ所登録可) [特許出願中] … 任意登録の不要警報エリア内での、レーダー警報レベルを最低に制御。

⑩ **AAC/不要警報カット** … 時速40km以下で走行中または停車中の不要な警報をカット。

⑪ **ASS/最適感度選択** [特許 第3051676号] … 時速40km以上はスーパー感度、60km以上はエクストラ感度、80km以上はスーパーエクストラ感度と最適感度を自動選択。

⑫ **GPS色別警報** … GPS警報時は青、レーダー警報時は赤と、色を変えて点滅。

主な特長

⑬ フレックスディマー … 地域・季節・時刻に応じて、ランプ類が自動的にライトダウン。

■ デジタル無線・取締無線&カーロケ帯 **トリプル識別** 受信機能

- ① **トリプル色別警報** … デジタル無線は水色、取締無線は緑、カーロケ無線は紫で点滅。
- ② **音声受信** … 159～160MHz帯のデジタル無線、350.1MHz取締り現場無線、407.7MHz帯のカーロケ無線の音声を識別受信。
- ③ **ボイスガイド** … 『ピピピピッ デジタル無線を受信しました ご注意ください』
『ピピピピッ ピピピピッ 受信しました ご注意ください』(取締無線受信時)
『ピピピピッ 1km以内(すぐ近く)のカーロケ無線を受信しました ご注意ください』

■ カーロケ遠近識別+圏外ボイス通知 [特許出願中]

- ① **カーロケ遠近識別** … カーロケ無線の発信元の遠方または近接を識別。
『ピピピピッ 1km以内(すぐ近く)のカーロケ無線を受信しました ご注意ください』
- ② **圏外ボイス通知** … 『ピピピピッ ピーピッ カーロケ無線が圏外になりました』
※ 実際には、停車中などで近くにいる場合もありますので、目安としてお考えください。

■ ベスト・パートナー機能 [特許出願中]

種々の無線の受信状況からシミュレーションし、
快適ドライブのベスト・パートナーとして、タイムリーに的確にアドバイスします。
『ピピピピッ スピード注意』 … 並走・追尾など周囲に注意してください。
『ピピピピッ ピーピッ クロスしました』 … リラックスを促す合図です。
『ピピピピッ ピピピピッ トラップシグナル』 … 取締りなどに注意してください。
『ピピピピッ ピピピピッ チェックポイントシグナル』 … 検問などに注意してください。

■ S-EXTRA/スーパーエクストラ感度 ☆☆☆☆☆

衛星技術を応用した探知距離2倍（当社比）の超最高感度。

●Wスーパーヘテロダイン … スイープオシレーター式超高精度受信方式 ●フリップチップinアンテナ [特許 第3229564号] ●X/Kツインバンド ●後方受信

■ *i DSP* integrated Digital Signal Processing Technology

統合的デジタル信号処理技術(*i* デジタル)により、超高精度識別を実現。

- ① **ボイス識別** ●新Hシステム識別 [特許 第3326363号・第3428531号] ●ステルス識別
- ② **GPS排除** [特許 第3044004号・第3160272号]

■ レーダーアラーム機能

●ボイスアラーム … 『ピンポン ピンポン』『ご注意ください』『危険です』 ●オケメロ&ボイスアラーム … オケメロ♪「くるみ割り人形」+『ご注意ください』 ●Wアラーム方式 ●接近テンポアップシステム ●ミュートボタン

■ 自動制御機能

●お知らせボイス … 『スーパーエクストラモードです』『自動感度モードONです』他。 ●オートディマー ●オートクワイアット

■ その他

●取付場所 … 操作部：ダッシュボード下、コンソール周辺、等 / アンテナ部：ダッシュボード上、等

各部の名称と働き

つづく

レーダー操作部

テスト&ミュートボタン [T/M]

警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。
(21、22、24ページ)

感度ランプ [SENS/S-EX]

受信感度をランプの色で表示します。
また、ダウンロード中は赤く点灯します。(23、50ページ)

パイロットランプ [AAC]

電源が入ると点灯し、警報の状態をランプの色で表示します。
また、ダウンロード中は赤く点灯します。(21、49、50ページ)

AACボタン [AAC]

AACシステムの設定/解除ができます。AACシステムをONに
設定すると、自動的にASS機能が働きます。(30、49ページ)

受信感度セレクトボタン [SENS]

AACシステムを解除しているときは、走行環境や条件に
合わせて受信感度が選べます。(23ページ)

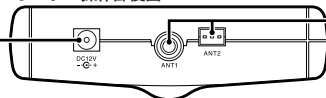
警報音セレクトボタン [VMA]

警報音が選べます。(22ページ)

DCジャック [DC12V] (12V車専用)

付属のシガープラグコードを接続します。(17ページ)

レーダー操作部後面



UHF/VHFランプ [RCV]

159~160MHz帯の電波を受信したときは水色、
350.1MHzのときは緑色、407.7MHz帯のときは
紫色に点滅します。(33、34ページ)

アラームランプ [ALARM]

取締りレーダー波を受信すると赤く点滅し、
GPSの電波をサーチ中、またはGPSによる警報中に
青く点滅します。(25、36、39、43、45ページ)
また、ダウンロード中は青く点灯します。

音量ツマミ [VOL]

警報音の音量調節ができます。(21ページ)

UHF/VHFスイッチ [UHF/VHF]

トリプル識別受信機能の設定/解除および
動作モードを選べます。(32、35ページ)

アダプタージャック [ADAPTOR]

ダウンロード・アダプターを接続します。

ANT1/ANT2

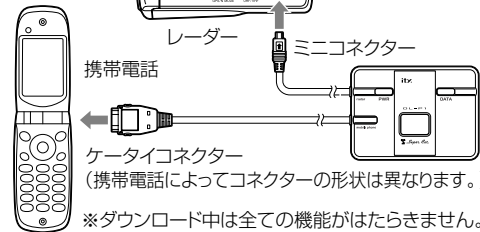
アンテナ部からのコネクタを接続します。(15ページ)

- ダウンロード・アダプター、携帯電話とのセット・アップのイメージ

ダウンロード
を開始します

…『ピロツ…
ピロツ…』…
(ダウンロード中)

ダウンロード
を終了しました



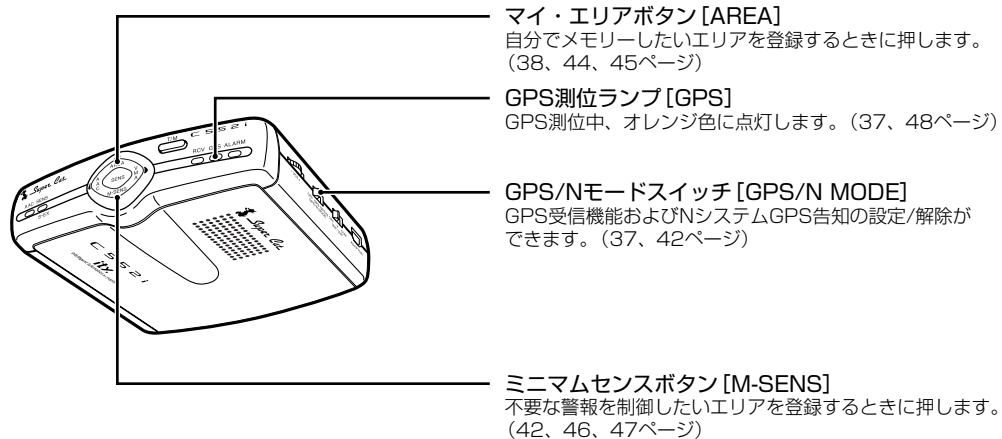
※ 詳しくは同梱の「ユピテル itx クラブ」パンフレットお
よび申込書をご覧ください。

は
じ
め
に

は
じ
め
に

各部の名称と働き

GPS操作部



アンテナ部

レーダー波アンテナ (前面)
取締りレーダー波を受信します。

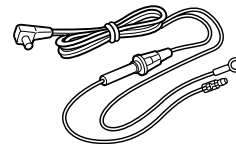
GPSアンテナ部
GPS衛星からの電波を受信します。

接続ケーブル (約3m)

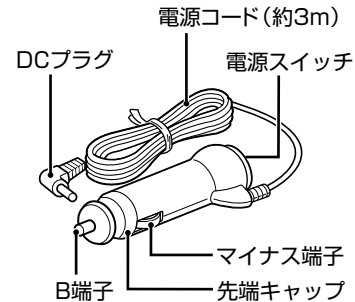
付属品

■ご使用前に付属品をお確かめください。

●電源直結コード(約3m)



電源スイッチ付シガープラグコード

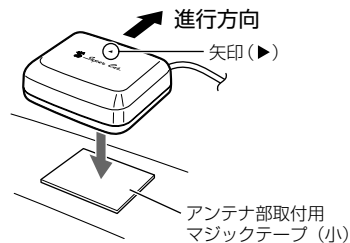


- 操作部取付用マジックテープ(大1)
- アンテナ部取付用マジックテープ(小1)
- 電源スイッチ付シガープラグコード(1)
- コードクリップセット(1)
- 取扱説明書・保証書(1)

アンテナ部を取り付ける

ダッシュボードに取り付ける

- 1** 付属のマジックテープで貼り付け、アンテナ部が道路に対して水平に、また矢印(▶)が進行方向(前方)を向くように、角度を調整する



- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。
- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

⚠警告

- ❗ エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠注意

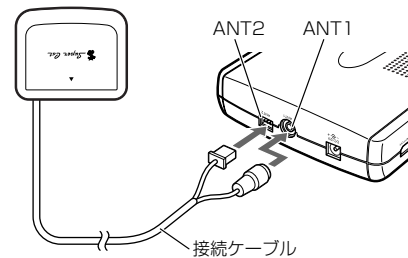
- ❗ 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

操作部を取り付ける

つづく

1 接続ケーブルを接続する

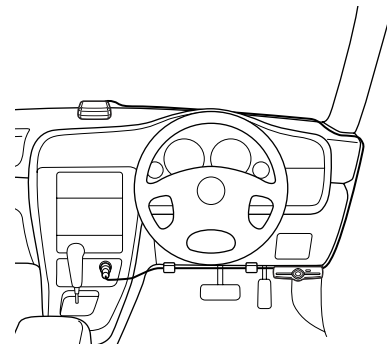
- 1** アンテナ部の接続ケーブルの先端を、操作部裏側ANT1およびANT2へ差し込む



⚠注意

- ❗ 接続ケーブルの接続または取り外しをする場合は、シガープラグコードを取り外した状態で行ってください。

- 2** ケーブルをきれいに配線する

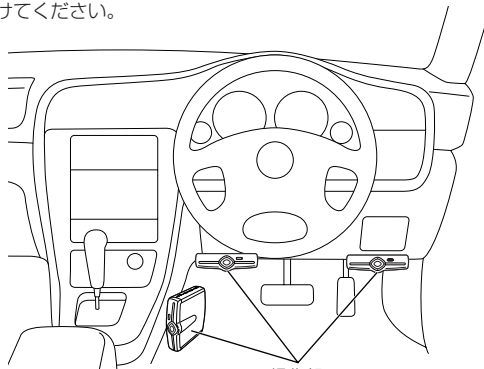


取り付けかた

操作部を取り付ける

2 付属のマジックテープで、操作部を貼り付ける

下記のイラストを参考にお手元の操作しやすい場所に貼り付けてください。



操作部

- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

⚠警告

- ! エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠注意

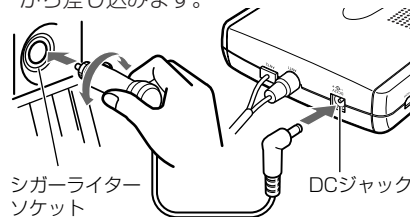
- ! 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

電源について

つづく

1 付属の電源スイッチ付シガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。



※必ず接続ケーブルを接続した後で、シガープラグコードを接続してください。

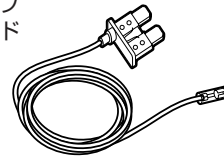
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、付属の電源直結コードを使用してください。

電源直結コードの使いかた

シガーライターソケットを使わず、ヒューズボックスから電源をとることができます。

平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

■平型ヒューズタイプ 電源取り出しコード (市販品)



- 平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

取り付けかた

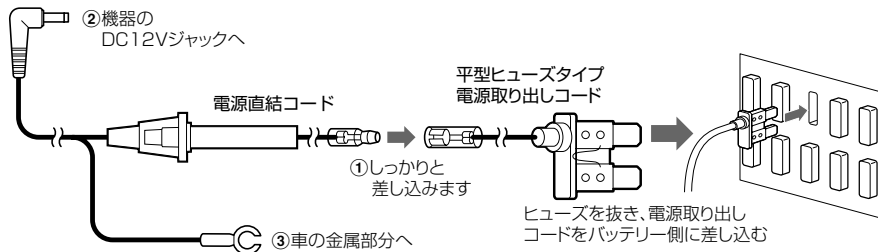
取り付けかた

電源直結コードの使いかた(つづき)

接続方法

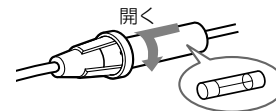
- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- 平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする回路(カーラジオなど)のヒューズと差し替えてください。



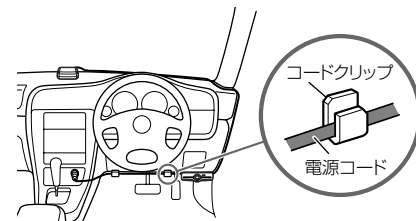
ヒューズの交換

- 接続状態でエンジンをかけても機器のバッテリーインジケータが点灯しない場合や、電源が入らない場合は、接続コード類がはずれていないことと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。(合わせて、平型ヒューズのヒューズが切れていないか確認してください)
- 図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回してはずし、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。



コードクリップの使いかた

付属のコードクリップセットで、シガープラグコードがきれいに配線できます。コードクリップを両面テープで貼り付けます。



- 布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、接着面に触れないように貼り付けます。
- 貼る場所のチリや汚れをよく落としたあと、慎重に行ってください。

取り付けかた

⚠警告

- ぬれた手でシガープラグを抜き差ししないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- シガープラグコードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。また、傷んだシガープラグコードを使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となります。
- シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふいて確実に差し込んでください。ホコリが付いていたり、不完全な接続をすると、接触不良を起こして火災の原因となります。
- シガーライターソケットは単独で使用してください。タコ足や分岐して接続すると異常過熱や発火の原因となります。
- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線を行ってください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠警告

- 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。シガープラグコードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 万一キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

- シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて感電やショートによる発火の原因となります。
- お手入れの際には、シガープラグを抜いてください。感電の原因となります。
- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。



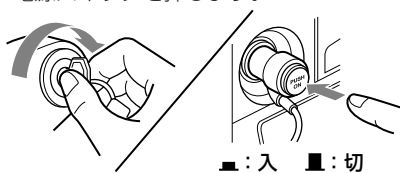
音量/警報音/受信感度を設定する

つづく

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、シガープラグの電源スイッチを押します。

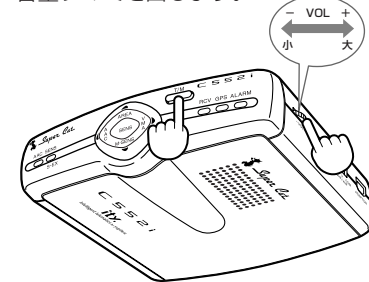


ターン・オン・ビープ(ㇿ)ピロッピロッ…)が鳴り、パイロットランプが点灯します。

- トリプル識別受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ビビビビッ』と鳴ります。(32ページ参照)

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

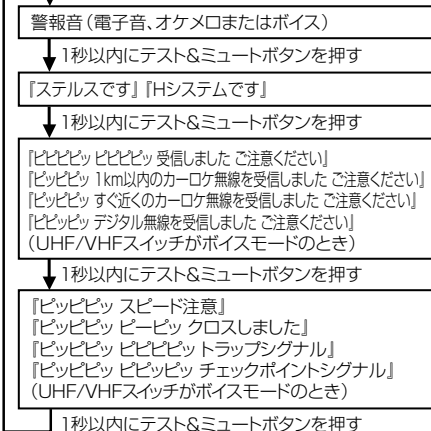


テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(24ページ参照)

音量/警報音/受信感度を設定する

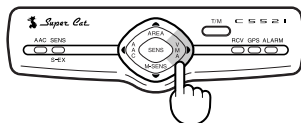
テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音、オケメロまたはボイス)を確認することができます。

一旦テスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。

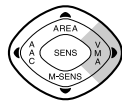


3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。



- 『メロディモードです』
- 『ボイスモードです』
- 『電子音モードです』

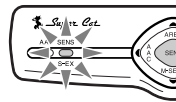
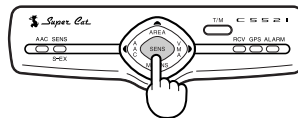


ボタンを押すたびに、ボイスで確認できます。

- ・オケメロ&ボイスアラーム
「メロディ」に設定すると、♪くるみ割り人形」に続けて『ご注意ください』とボイスでアラームします。
- ・ボイスアラーム
「ボイス」に設定すると、『ピンポン ピンポン』のあとに、『ご注意ください』『危険です』とボイスで警報します。

4 受信感度を選ぶ

受信感度を変えるときは、AACシステムがOFF(解除)のときに(49ページ参照)、受信感度セレクトボタンを押して切り換えます。



ボタンを押すたびに、ボイスと感度ランプで確認できます。

- 『シティモードです』(赤色)
- 『ハイウェイモードです』(緑色)
- 『スーパーエクストラモードです』(青色)

※ AACシステムがON(設定)のときに、受信感度セレクトボタンを押すと、ASS(最適感度選択)モードからスーパーエクストラモードとなります。再度押すと、ASSモードに戻ります。

『スーパーエクストラモードです』(青色)

『スーパーエクストラモードOFFです』

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑ 低い	スーパーエクストラモード	高速道路
	ハイウェイモード(エクストラ感度)	郊外や高速道路
	シティモード	市街地



便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプ類も暗くなります。

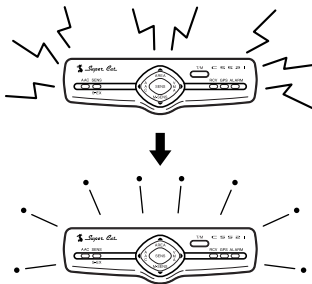
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビーブ

電源スイッチを入れたとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



また、ダウンロード終了後もターン・オン・ビーブが鳴ります。

- トリプル識別受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(32ページ参照)



レーダー警報機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音/オケメロ&ボイス/ボイス)と光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。

- オケメロ&ボイスアラームはテンポアップしません。
- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)



iDSPについて

つづく

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』または『Hシステムです』とボイスでお知らせします。【ステルス識別】/【新Hシステム識別：特許 第3326363号・第3428531号】

またカーナビからのGPSのモレ電波など妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。【GPS排除：特許 第3044004号・第3160272号】

※ iDSPを解除することはできません。

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

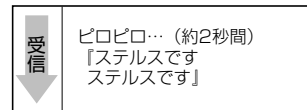
他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

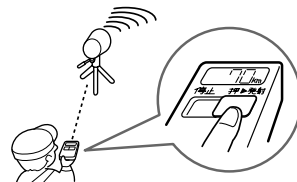
- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイスでステルス波の識別警報することがあります。
- オケメロ&ボイスアラームを選んでいるときでも、ステルス型取締り機や新Hシステムの電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

＜ステルス波を受信したとき＞

- 専用のボイスでお知らせします。



5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。



ボイス識別

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



※ 電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

＜新Hシステム波を受信したとき＞

- はじめは選んでいる通常の警報音(ボイス、オケメロ&ボイス、電子音)が鳴りますが、識別するとボイスでお知らせします。

受信	通常の警報音 (ボイス、オケメロ&ボイス、 電子音)
識別	ピロピロッ 『Hシステムです』 ピロピロッ 『Hシステムです』…… (受信している間、繰り返し 警報します。)

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。**(自動識別&排除設定機能)**さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。

(自動補正機能)

[特許 第3044004号・第3160272号]

カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。

自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。



トリプル識別受信機能の使いかた

つづく

① 159～160MHz帯デジタル無線受信機能について

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

《デジタル無線のON/OFFのしかた》

放送局や、無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、デジタル無線の受信状態になることがあります。こんなことがひんぱんに起こる場合、デジタル無線の受信機能だけOFF(切)にすることができます。

- ① 一旦、電源スイッチをOFFにする。
- ② AACボタンを押したまま、電源スイッチをONにし、ボイスが聞こえたらボタンをはなす。

(電源直結コードを使用している場合は、エンジンキーのACCのON/OFFで操作してください。)



※ ON⇔OFFが切り換わり、それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

② 350.1MHz取締無線受信機能について

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。

350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、通話内容をコード化したデジタル方式や有線方式もあり、受信しても内容が分からなかったり、受信自体ができない場合もあります。

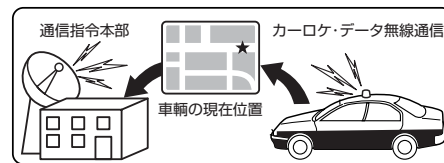
※カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、ボイスでお知らせしたり、受信状態になることがあります。あらかじめご了承ください。

③ 407.7MHzカーロケ帯受信機能について

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。

カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。



- 移動局によっては、カーロケーターシステムが搭載されていない場合がありますので、移動局が近くにいる場合でも受信できない場合があります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

トリプル識別受信機能について

これら、デジタル無線、取締無線、そしてカーロケ帯の3種類の電波を受信した時に、トリプル識別受信機能により、それぞれ、どの電波を受信したのかを識別して、ボイスでお知らせします。

また、UHF/VHFランプもデジタル無線受信時は水色、取締無線受信時は緑色、カーロケ受信時は紫色とそれぞれ色を変えて点滅します。[トリプル色別警報]

■ カーロケ遠近識別+圏外ボイス通知 [特許出願中]

407.7MHz帯の電波を受信したとき、その発信元が遠方のときは、『ピッピッ 1km以内のカーロケ無線を受信しました ご注意ください』とお知らせします。[カーロケ遠方受信] また、発信元が近接しているときは、『ピッピッ すぐ近くのカーロケ無線を受信しました ご注意ください』とお知らせします。[カーロケ近接受信] このように、発信元の遠近を自動識別してボイスでお知らせします。[カーロケ遠近識別]

更に、[カーロケ近接受信]後の電波の受信状況により、発信元が圏外になったと思われる場合、『ピッピッ ピーピー カーロケ無線が圏外になりました』とボイスでお知らせします。[圏外ボイス通知]

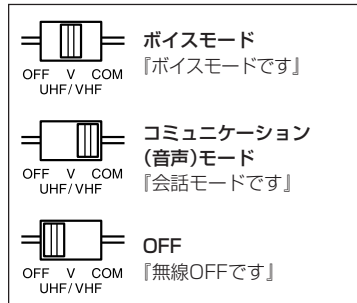
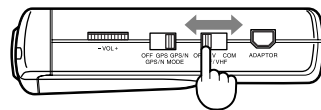
※ [圏外ボイス通知]があっても、実際には、停車中などで近くにいる場合もありますので、目安としてお考えください。



カーロケ遠近識別+圏外ボイス通知により、ストレスモード⇄リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

1 設定する

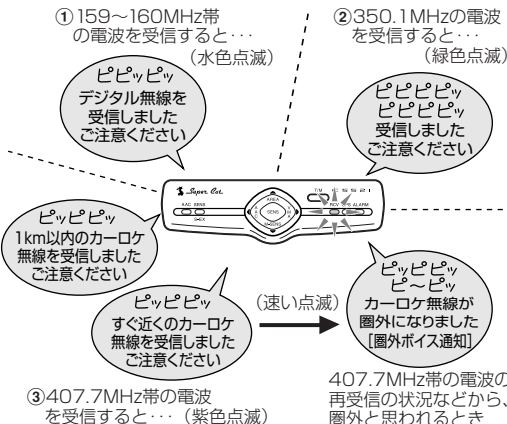
UHF/VHFスイッチで動作モードを選びます。



159~160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信すると

<ボイスモードのとき>

● UHF/VHFランプが点滅し、ボイスでお知らせします。



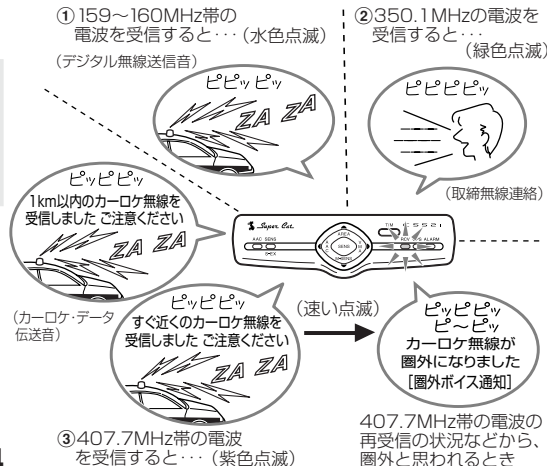
- 159~160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を一瞬でも受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- ボイスが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。
- カーロケ近接受信から圏外ボイス通知までの間、UHF/VHFランプは紫色で速い点滅をします。

トリプル識別受信機能の使いかた

159~160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信すると(つづき)

＜コミュニケーション(音声)モードのとき＞

- UHF/VHFランプが点滅し、受信内容を聞くことができます。



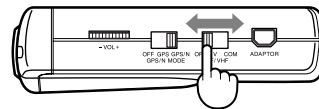
- 30秒以内にもう一度159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信しても電子音やボイスは鳴りません。受信した音声のみ聞こえます。
- 350.1MHz取締無線がデジタル方式の場合や、407.7MHz帯、159～160MHz帯の受信音は、デジタル信号音ですので、受信しても内容は分かりません。
- 159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信しているときに取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- 350.1MHz取締無線の交信は数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- カーロケ近接受信から圏外ボイス通知までの間、UHF/VHFランプは紫色で速い点滅をします。

 ベスト・パートナー機能について

デジタル無線、取締無線、カーロケ無線などの無線の受信状況からシミュレーションし、快適ドライブのベスト・パートナーとして、安全走行のためのタイムリーなアドバイスをボイスでお知らせします。

1 確認する

UHF/VHF スイッチがボイスモード、
またはコミュニケーション（音声）
モードであることを確認します。
(32 ページ参照)



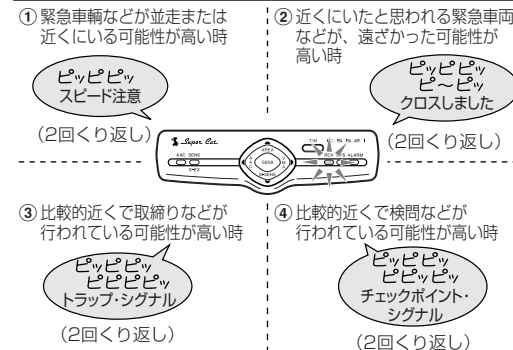
- UHF/VHFスイッチがOFFの状態では、ベスト・パートナー機能は働きません。

2 確認する

デジタル無線受信機能のONを確認
します。(30 ページ参照)

- デジタル無線OFFの状態では、一部のベスト・パートナー機能が働きません。

種々の無線受信後のシミュレーションでお知らせすることがあると



- ③&④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レコーダー受信感度は自動的にスーパーエクストラモードとなります。(但し、AACシステムがONのとき。49ページ参照)

※ ボイスによるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。



GPS測位機能について

つづく

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービスそしてLHシステムも、ボイスで警告します。【GPSボイス警告：特許出願中】

また、固定設置式のオービスだけでなく、過去の実績(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンも予めメモリーされていて、そのゾーンへの接近・圏内・圏外を3段階でお知らせします。【GPSゾーン警告&圏外通知】

さらに、携帯電話を使って、オービスやNシステムなどの設置ポイント、速度取締りや検問などのゾーン警告の登録ポイントを更新する、ダウンロード・サービスも始めました。

(詳しくは同梱の「ユピテル **itx** クラブ」パンフレットおよび申込書を参照願います。)

【ダウンロード対応：特許出願中】

そして、自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、レーダー警報が鳴るエリアを30カ所メモリーでき、そのエリアにおけるレーダーの警報レベルを最低に制御します。

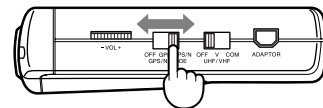
【MSC/ミニマムセンス制御：特許出願中】

itx. intelligent telematics by yupiteru
(intelligent)な情報を提供するテレマティクス(telematics)という新しい技術—ユピテルからユピテルのインテリジェント(intelligent)なテレマティクス(telematics)技術により、単なるレーダー探知機に留まらない、快適なカーライフのための情報提供機器へと進化させる高次元なサービスです。そして、まずダウンロードから始まった。

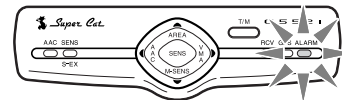
*テレマティクス...通信(テレコミュニケーション)と情報処理(インフォマティクス)の組み合わせによる造語で、クルマにおけるインターネット接続関連のITサービス。
Telematics=Telecommunication+Informatics

1 GPS測位機能を使う

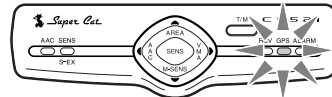
GPS/Nモードスイッチで切り換えます。



GPSまたはGPS/Nに切り換えると、GPSの電波をサーチしはじめ、アラームランプが青色に点滅します。



サーチが終わり、GPS測位機能が働くと、アラームランプは消灯し、GPS測位ランプがオレンジ色に点灯します。初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。



サーチ後、約5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- サーチが終わった後でも、電波を受信できない状態が約30秒以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、アラームランプが点滅します。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。
- トンネルの中や高架の下など、測位できない場所でも、アラームランプが点滅しないことがあります。

《測位アナウンスのON/OFFのしかた》

GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ポーン GPSを受信できません』『ポーン GPSを受信しました』をくり返すことがあります。

このようなときは、次のような操作により、測位アナウンスをOFFにすることができます。

- ① 一旦、電源スイッチをOFFにする。
- ② マイ・エリアボタンを押したまま、電源スイッチをONにし、ボイスが聞こえたらボタンをはなす。
(電源直結コードを使用している場合は、エンジンキーのACCのON/OFFで操作してください。)



※ ON⇔OFFが切り換わり、それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

- 測位アナウンスOFFの場合でも、初めての測位のときは、測位アナウンスを行います。

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…

オービスの種類を識別してボイスで警告します。

【GPSボイス警告/オービス識別ボイス】

ループコイル式	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に高速道(一般道)ループコイル式オービスがあります』
LHシステム	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に高速道(一般道)LHシステム式オービスがあります』
新Hシステム	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に高速道(一般道)Hシステム式オービスがあります』
レーダー式	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に高速道(一般道)レーダー式オービスがあります』

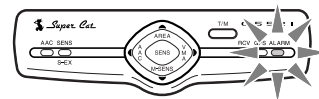
※光電管式は撤去され、オービスは上記4種類になりました。

警告ポイントが約1km以内のときは、「1km先に」→「この先に」とお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて「500m先に」→「300m/200m/100m/すぐ先に」のいずれかでお知らせします。

GPSアラームランプが青色に点滅します。

- ① 約1km～500m手前で、GPSボイス警告し、青色に点滅します。
- ② 約500m～直前で、もう一度GPSボイス警告し、青色の速い点滅をします。【GPS 2段階警報】

ただし、GPS測位の状況によっては、1回のみの警報になります。



- 本機はGPS警報よりも、取締りレーダー波受信による警報を優先しますので、GPSボイス警告がされなかったり、中断される場合があります。

GPS測位機能について

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…

GPSボイス警告は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対しては警告されません。さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向もお知らせします。【方向識別ボイス】

・進行方向に対して、左右約25°以内のときは、「右方向」「左方向」の識別はしません。

また、高速道路上に設置されているオービスか一般道路上のものを識別してお知らせします。【高速/一般道識別ボイス】

さらに、トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所※で、出口付近のオービスをボイスで警告します。【トンネル出口警告】

『ポーン トンネルの出口付近に高速道(一般道)○○○式オービスがあります』

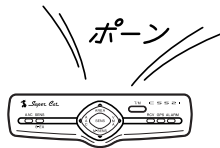
※GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみ警告になります。

オービスポイント直前告知について

オービス・ポイントの直前で、『ポーン』と音でお知らせします。

- ・マイ・エリア登録したポイントの直前でも『ポーン』と音でお知らせします。(44ページ参照)

※GPS測位または走行地点の地理的な状況によっては、『ポーン』と音でお知らせしない場合があります。



フレックスディマーについて

GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のランプ類の明るさを抑え、眩しさを防ぎました。



GPSゾーン警告&圏外通知について

GPSボイス警告は固定設置式のオービスに近づくと警告しましたが、GPSゾーン警告&圏外通知では、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンが予めメモリーされていて、そのゾーンの1km手前とゾーンの中に入った時、そしてゾーン圏外になった時の3段階でお知らせします。

《トラップ・ゾーンの場合》

1km手前…	『ポーン 右(左)方向 1km先に 高速道(一般道)トラップ・ゾーンがあります』 (アラームランプ:青色点滅)
ゾーンの中に入った時…	『ポーン 右(左)方向に 高速道(一般道)トラップ・ゾーンです ご注意ください 右(左)方向に 高速道(一般道)トラップ・ゾーンです ご注意ください』 (アラームランプ:速い青色点滅) ※トラップ・ゾーンに進入すると、レーダー受信感度は自動的にスーパーエクストラモードになります。 (但し、AACシステムがONのとき。49ページ参照)
ゾーン圏外になった時…	『ポーン トラップ圏外になりました』

《チェックポイント・ゾーンの場合》

1km手前…	『ポーン 右(左)方向に 1km先に 高速道(一般道)チェックポイント・ゾーンがあります』 (アラームランプ:青色点滅)
ゾーンの中に入った時…	『ポーン 右(左)方向に 高速道(一般道)チェックポイント・ゾーンです ご注意ください 右(左)方向に 高速道(一般道)チェックポイント・ゾーンです ご注意ください』 (アラームランプ:速い青色点滅)
ゾーン圏外になった時…	『ポーン チェックポイント圏外になりました』

※トラップやチェックポイントは、過去のデータに基づきメモリーされていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください

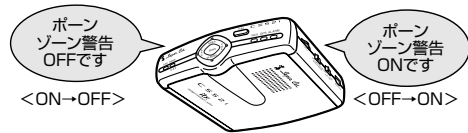


《GPSゾーン警告のON/OFFのしかた》

GPSゾーン警告を止めたいときは、次のような操作により、GPSゾーン警告をOFFにすることができます。

- ① 一旦、電源スイッチをOFFにする。
- ② ミニマムセンスボタンを押したまま、電源スイッチをONにし、ボイスが聞こえたらボタンをはなす。

(電源直結コードを使用している場合は、エンジンキーのACCのON/OFFで操作してください。)



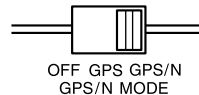
※ ON⇔OFFが切り換わり、それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

GPS測位機能により、予めメモリーされた交通監視システムやNシステムのポイントに近づくと、ボイスでお知らせします。

1 GPS告知機能を使う

GPS/NモードスイッチをGPS/Nの位置にしてください。

- お買い上げ時には、GPS/NモードスイッチはGPS/Nになっています。



交通監視システムについて

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。

本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。本機では「新型の取締り機ではないか?」といった疑問や不安を持たないように、スピード取締り機とは区別して、『交通監視システムです』とボイスでお知らせします。

内蔵メモリーに登録されている交通監視システムのポイントに近づくと…

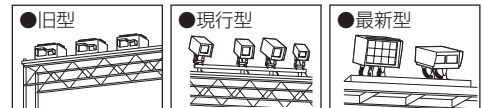
内蔵メモリーに登録されている交通監視システムの約300m手前から通過直前に、『ボーン 右(左)方向 すぐ先に一般道交通監視システムがあります』とボイスでお知らせし、アラームランプが速い青色点滅をします。[交通監視システム告知]

- 新設の交通監視システムで、未登録の場合は、[交通監視システム告知]はされません。
- 進行方向に対して、左右約25°以内のときは、『右方向』『左方向』の識別はしません。
- 2004年5月現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。

内蔵メモリーに登録されているNシステムのポイントに近づくと…

内蔵メモリーに登録されているNシステムの約300m手前から通過直前に、『ボーン 右(左)方向 すぐ先に高速道(一般道)Nシステムがあります』とボイスでお知らせし、アラームランプが速い青色点滅をします。[NシステムGPS告知]

- 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、[NシステムGPS告知]はされません。
- 「NシステムGPS告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。
- 進行方向に対して、左右約25°以内のときは、『右方向』『左方向』の識別はしません。

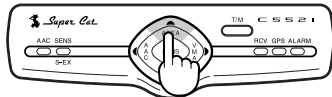




マイ・エリア警告の使いかた

1 マイ・エリア登録をする

移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、自分で登録したい地点でマイ・エリアボタンを押します。



2 マイ・エリア登録を確認する

『ポーン このエリアをセットしました』*とボイスでお知らせします。

■すでにマイ・エリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン このエリアはセットされています』*とボイスでお知らせします。

■いったん登録したマイ・エリアを解除(消去)するとき…

マイ・エリア登録されているエリアで、マイ・エリアボタンを約1秒間押すと、『ポーン このエリアを解除しました』*とボイスでお知らせし、消去します。

■登録したマイ・エリアをすべて解除(消去)するとき…

マイ・エリアボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン 解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。

• いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

■GPS電波を受信できず、マイ・エリア登録できなかったとき…

『ポーン GPSを受信できません』*とボイスでお知らせします。

■マイ・エリア登録が30カ所を超えたとき…

マイ・エリア警告された頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※GPS測位の状況によっては、先に『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせする場合があります。

自分でマイ・エリア登録したポイントに近づくと…

『ポーン 右(左)方向1km(500m)先にセットしたエリアがあります』と約1km～500m手前と約500m～直前の2回、ボイスで警告します。

このとき、アラームランプは約1km～500m手前で青色点滅し、約500m～直前は速い青色点滅をします。[マイ・エリア警告]

警告エリアが約1km以内のときは、「1km先に」→「この先に」とお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて「500m先に」→「300m/200m/100m/すぐ先に」のいずれかでお知らせします。

さらに、マイ・エリア登録したポイントの直前で、『ポーン』と音でお知らせします。

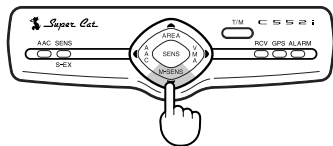
[オービス・ポイント直前告知]



MSC/ミニマムセンス制御の使いかた

1 ミニマムセンス登録をする

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴るエリアで、レーダー警報を抑えたい地点でミニマムセンスボタンを押します。



2 ミニマムセンス登録を確認する

『ポーン このエリアをミニマムセンスにセットしました』*とボイスでお知らせします。

■すでにミニマムセンス登録されていたエリアのとき…

『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』*とボイスでお知らせします。

■いったん登録したミニマムセンス・エリアを解除(消去)するとき…

ミニマムセンス登録されているエリアで、ミニマムセンスボタンを約1秒間押すと、『ポーン ミニマムセンスを解除しました』*とボイスでお知らせし、消去します。

■登録したミニマムセンス・エリアをすべて解除(消去)するとき…

ミニマムセンスボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン ミニマムセンスを解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。

- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

■GPS電波を受信できず、ミニマムセンス登録できなかったとき…

『ポーン GPSを受信できません』*とボイスでお知らせします。

■ミニマムセンス登録が30カ所を超えたとき…

ミニマムセンス登録されているエリアへの侵入頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位の状況によっては、先に『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせする場合があります。

ミニマムセンス登録したエリアに進入すると…

ミニマムセンス登録したポイントから半径約300mのエリアに進入すると、レーダー波の警報レベルをミニマム(最低)にし、不要なレーダー警報を抑えます。
[特許出願中]

GPSボイス警告、トンネル出口警告、マイ・エリア警告はミニマムセンス・エリア内でも警告されます。



AACシステム/ASS機能について

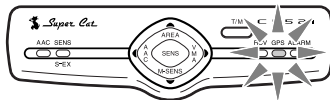
つづく

GPS測位機能を利用して走行速度を検出することにより、停車中または低速走行中の不要な警報をカットしたり【AAC/不要警報カット】、取締りレーダー波の最適な受信感度を自動的に選択します。【ASS/最適感度選択：特許 第3051676号】

AACシステムがOFF(解除)の状態では、レーダー波を受信すると常に警報音が鳴ります。お買い上げ時には、AACシステムはOFF(解除)になっています。

1 GPS測位を確認する

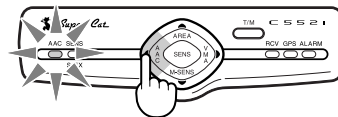
GPS測位ランプが点灯していることを確認します。(37ページ参照)



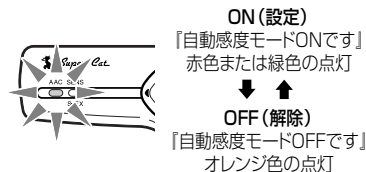
- GPS/NモードスイッチがOFFまたはGPS測位していない状態で、AACシステムがOFF(解除)のときは、レーダー波を受信すると常に警報が鳴ります。

2 AACボタンを押してONにする

パイロットランプが赤色または緑色の点灯の時は、ON(設定)の状態です。パイロットランプがオレンジ色の点灯のときは、OFF(解除)の状態ですので、AACボタンを押してONにします。



AACボタンを押すたびに、AACシステムのON/OFFが切り換わり、ボイスでお知らせします。



■ AAC/不要警報カット

走行速度が時速40km以下の場合…

パイロットランプが赤色に点灯し、取締りレーダー波を受信しても、警報をカットします。停車中や低速走行中に、自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

■ ASS/最適感度選択

走行速度が時速40km以上の場合…

パイロットランプが緑色に点灯し、走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

走行速度	受信感度	
40km～	ハイウェイモード	スーパー感度
60km～		エクストラ感度
80km～	スーパーエクストラモード	

※AACシステムがON(設定)のときに、受信感度セレクトボタンを押すと、スーパーエクストラモードとなります。再度押すと、ASSモードに戻ります。

- GPS/NモードスイッチがOFFまたはGPS測位していない状態が続くと、走行速度が検出できませんので、走行時間の経過に応じて、受信感度が自動的に変化します。

AACシステム/ASS機能について

パイロットランプの点灯色と警報動作

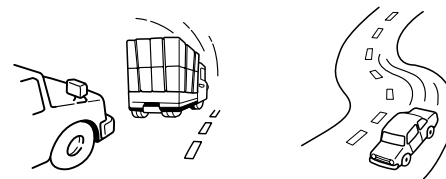
AACシステムをON(設定)にすると、低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。[ASS/最適感度選択：特許 第3051676号]

		時速40km		時速60km	時速80km	}}	時速40km		
車の状態		停車	走行中		走行中		走行中	停車	
ON(設定)時 AACシステム	パイロットランプ	赤色点灯			緑色点灯			赤色点灯	
	感度ランプ	赤色点灯	オレンジ色点灯		緑色点灯	青色点灯	}}	赤色点灯	
	スーパーエクストラモード選択時				青色点灯				
	警報状態	警報しない			警報する			警報しない	
OFF(解除)時 AACシステム	受信感度		スーパー感度	ハイウェイモード	スーパーエクストラモード	}}			
				エキストラ感度					
	パイロットランプ	オレンジ色点灯							
	感度ランプ	マニュアルモードで設定した受信感度のランプ色点灯。 シティモード(赤色)/ハイウェイ(エキストラ感度)モード(緑色)/スーパーエクストラモード(青色)							
	警報状態	警報する							
	受信感度	マニュアルモードで設定した受信感度							

取締りレーダー波を受信しにくい場合

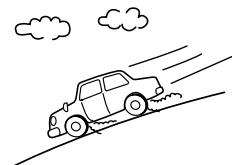
電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。
- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

その他

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法 (追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケータシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

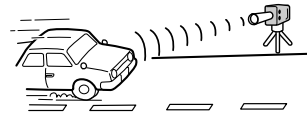
2. 距離と時間で算出する方法 (光電管式、ループコイル式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 電波を使って算出する方法 (レーダー方式)

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

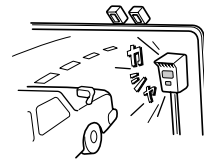
人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。 - シガープラグコードが外れていませんか。 - シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 - シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても電源が切れない	シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、シガープラグの電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	- 電源が入っていましたか。パイロットランプの点灯を確認してください。 - 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 - 取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) - 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 - ミニマムセンス登録したエリアではありませんでしたか。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。

症状	チェック項目
取締りもしていないのにレーダー警報する	- 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー - NTTのマイクロウェブ通信回線の一部 - 他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。 - 信号機の近くに設置されている車輛通過計測機 - 気象用レーダー、航空レーダーの一部
カーナビゲーションの影響を排除できない	自動ドアなどの常に電波の出ている場所でエンジンを始動した場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ていない場所へ移動して、もう一度本機の電源スイッチを入れ直してください。
ひんぱんにトリプル識別受信する	放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	- UHF/VHFスイッチを「V」または「COM」に設定していましたか。 - 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
GPS警告しない	- GPS測位していましたか。 - レーダー警報していませんでしたか。(レーダー警報がGPS警報より優先されます) - 新たに設置されたオービスではありませんか。
NシステムGPS告知しない	- GPS/Nモードスイッチは「GPS/N」の位置に切り換えていましたか。 - GPS測位していましたか。 - 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。 - レーダー警報していませんでしたか。(レーダー警報がGPS告知より優先されます)

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	： DC 12V (シガープラグ入力電圧)	動作温度範囲	： -20℃～+85℃ (GPS部：-20℃～+80℃) (UHF/VHF部：-10℃～+60℃)
消費電流	： 待機時：80mA以下 (GPS/UHF/VHF部 OFF時) 最大：190mA以下	本体外形寸法	： ●操作部 …78(W)×22(H)×85(D)mm (突起部除く) ●アンテナ部 …54(W)×19(H)×45(D)mm
受信方式	： [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	本体重量	： ●操作部 85g ●アンテナ部 91g (接続ケーブル含む)
受信周波数	： [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 350.1MHz/407.7MHz帯 [VHF部] 159～160MHz帯		

アフターサービスについて

つづく

1. 保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5. GPSデータの更新について

本機にはあらかじめオービス、交通監視システム、Nシステム、トラップおよびチェックポイントのデータが登録されています。

最新データへの更新をご要望される場合、同梱の「ユピテル **itx** クラブ」パンフレットおよび申込書をご覧ください。会員になると携帯電話を利用してGPSデータをダウンロードできるサービスが受けられます。

また、従来のお預かり更新サービス(送料別・税込¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

その他

その他

アフターサービスについて

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日10：00～18：00です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けていたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

■製品の機能・仕様、取扱方法に関するお問い合わせ お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

■修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011) 618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022) 284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03) 3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052) 769-1601 〒453-0092 愛知県名古屋市長区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06) 6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082) 230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092) 552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
 - (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。